



about photos

- ① 謝辞を述べる大渡純星さん ② 記念品を受け取る長尾龍乃輔さん、宮崎萌音さん ③ 恩師の熊崎佐知子先生が門出を祝福 ④ 第2部では恩師たちに記念品が渡された
⑤ 記念写真(提供:池田写真館) ⑥ 式後の交流会の様子 ⑦ 聖太鼓の会によるオープニング演奏 ⑧ 万歳三唱で新たな門出を祝した

20歳の節目を迎える 令和5年 おおまち・はたちの集い

晴れやかな青空が広がる1月4日、町公民館で「おおまち・はたちの集い」が行われました。会場には、真新しいスーツや色鮮やかな振袖に身を包んだ参加者たちが再会を喜び、旧交を温める姿がありました。

今回の特集では、記念すべき第1回目となる「おおまち・はたちの集い」の様子を紹介します。

「成人式」から「はたちの集い」に

令和4年4月1日の民法改正に伴い、成人年齢が18歳に引き下げられました。これを受け、従来の「大町町成人式」から「おおまち・はたちの集い」へと名称を変更。記念すべき第1回目の式を開催する運びとなりました。

当日は、マスク着用、間隔を空けた席の配置、入場時の手指消毒や検温の実施など徹底した感染症対策のなかで行いました。

はたちの門出を祝福

式では、水川町長をはじめ、来賓や恩師から祝福の言葉と記念品が贈られると、出席者を代表して大渡純星さんが「20歳という節目を迎えた私たちは、すでに職業に従事している人や学業に励んでいる人など、一人ひとりが常に向上心を持って前進する覚悟であります。私たちが感謝すべき人はこれまで近くで支えてくれた家族です。ずっとそばでここまで育ててくれてありがとうございます。まだまだ未熟者ですので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします」と謝辞を述べました。

その後、園田侑夏さんと吉村聖矢さんが、はたちになった自覚と抱負について、堂々と意見を発表を行いました。